

普段から目に付くところに貼っておこう

避難カード

この避難カードは、自身と家族の命を守るために避難行動や連絡先などをまとめておくものです。

地震や津波発生時の避難行動を事前に検討し、自分自身の避難カードを作ってみましょう。

分散避難 安全が確認できる場合は、**在宅避難**、**親戚・知人宅避難**も避難の方法の1つです。

地震発生

『緊急地震速報（テレビ・スマートフォン・防災行政無線など）』

※震源地が近い場合、緊急地震速報よりも早く揺れが起こることがあります。

☐ 身を守る行動



『揺れがおさまってから行動する』

- ☐ ガスの元栓を閉める
- ☐ 電気のブレーカーを切る
- ☐ 避難経路の確保
- ☐ 家族の安否確認
- ☐ 情報収集



南海トラフ地震は、
「今後**30年以内**に発生する確率が高い」

香川県が新たに県内の地震・津波被害想定を見直し、平成26年の想定より、震度6強の地域が増え、死者数なども増加しました。

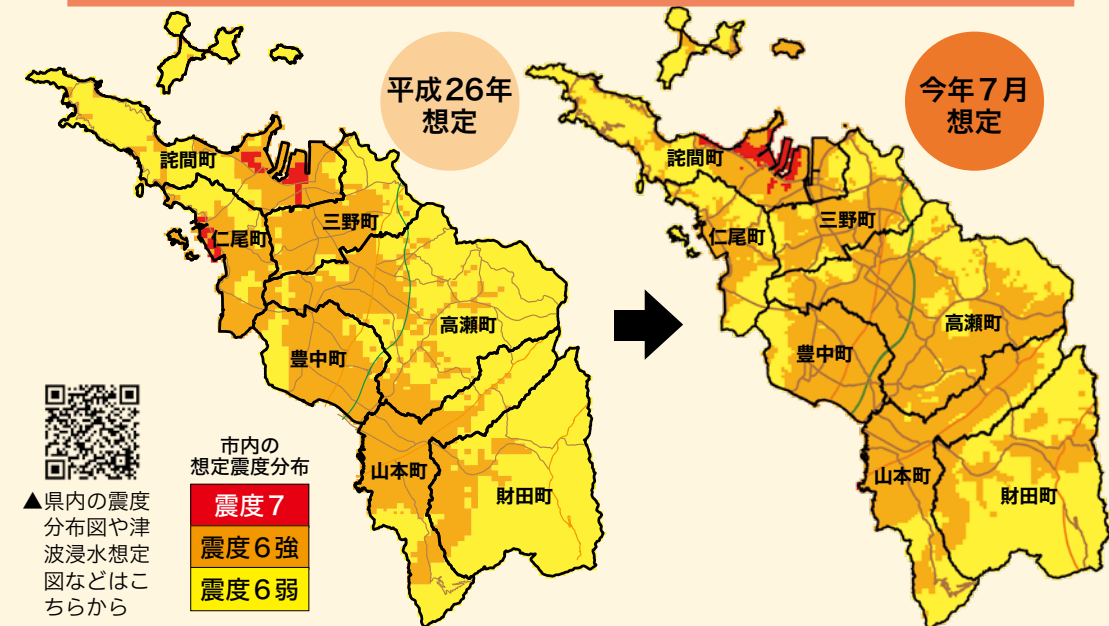
市内の新たな被害想定（最大クラス）



死者：**880**人
負傷者：**2,600**人



全倒壊数：**6,600**棟



▲県内の震度分布図や津波浸水想定図などはこちらから

市内の想定震度分布
震度7
震度6強
震度6弱



▲市内の避難場所・避難所一覧はこちらから



例 学校や公民館など

まずは**避難場所**に逃げる！
安全が確認されたら、必要に応じて**避難所**へ
災害の危険性がなくなった後に、自宅が被災した人々や災害により帰宅が困難となった人々が、一定期間滞在することを目的とした施設のことです。

指定避難所



例 公園や学校の校庭、高台など

指定緊急避難場所
災害による危険が切迫した状況で、**生命の安全を一時的に確保**することを目的とした、緊急に避難する場所のことです。

避難場所と避難所の違い



知っていますか？

避難場所とは「難」を「避」けることで、安全な場所にいる人まで、避難場所や避難所などに避難する必要はありません。

あなたはどこに逃げる？

安全な地域に住んでいて、自分で安全が確保できる人は、住み慣れた自宅で生活を続ける「在宅避難」も選択肢の1つです。



今できること……

普段から、自宅や職場の近くにある避難場所と避難所を地図で確認したり、家族と一緒に集合場所や連絡方法を話し合ったりすることが大切です。
今一度、避難行動を見直し、災害時に備えて自分自身の『避難カード』を作成してみましょう。3〜4ページのカードに記入して、目に付くところで保管しましょう。

再確認

南海トラフ地震の被害想定が見直されました

▼問い合わせ 危機管理課 ☎73・3119



Yuka Fukui

岡山県新庄村出身。岡山県内の大学で地域マネジメントを専攻し、地域課題の解決やまちづくりについて学ぶ。IT企業に就職し、東京で官公庁のシステム運用・保守業務に携わる。移住後は、瀬戸内ならではの穏やかな海岸沿いをドライブすることに夢中。

“程よい田舎感”に魅せられて

地域おこし協力隊に 福井 柚香さん

移住促進や地域の活性化を目的に、移住希望者への情報発信や移住サポートに取り組み、移住コンシェルジュ（地域おこし協力隊）として、9月16日から新たに福井柚香さんが着任しています。

安心して移住できる環境づくりをめざします。また、地元に住む人たちが改めて地域の魅力を感じ、さらに愛着を深めてもらえるような取り組みを進めていきます。

三豊市には、学生時代に旅行で来たことがあり、自然を身近に感じながらも、生活するには不便のない“程よい田舎感”がいろいろあります。

“岡山県の田舎出身なので、上京した際には、人の多さや人工物に囲まれた生活に少し違和感を感じていました。友人からの紹介で地域おこし協力隊の募集を知り、転職を考えていたタイミングも重なったので応募しました。三豊市では、住民の皆さんが温かく接してくれ、移住や農業振興のために頑張っている人たちが多く、活気を感じます”

“地域と人をつなぐマッチングサイト『スマウト』を有効活用し、県外の移住希望者に向けて、魅力やイベント情報、就職支援などの情報を届けていきたいです。

自身も移住者として、身近に感じられる存在となり、地域の皆さんと協力して、移住者や移住希望者のサポートをしていきたいです”



▲任命式で山下市長から「まずは三豊市を好きになってもらい、広く自由に発信してほしい」と期待の言葉が贈られました



▲移住フェアで三豊市の魅力を紹介してきました



▲移住者の皆さんに、困りごとや挑戦したいことなどのヒアリングを行っています

▶問い合わせ 地域戦略課 ☎73-3011



ワンポイント

自宅で被災した場合、学校や職場で被災した場合など、さまざまな状況で考えてみよう

